

令和7年10月30日

小平市教育委員会教育長 殿

小平市立小平第一小学校給食運営委員会

委員長 内藤 章

令和7年度 第1回小平市立小平第一小学校給食運営委員会について

このことについて下記の通り報告します。

記

日 時：令和7年10月27日（月） 午後0時15分から午後0時50分まで

会 場：小平第一小学校 夢の広場

出席者： 12名

傍聴者： 0名

会議の概要

1 挨拶

（委員長）皆様、本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。
保護者の皆様におかれましては、先週の運動会に続き、学校行事への多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本日の会議は、保護者、学校教職員、調理委託事業者、そして教育委員会の4者が一堂に会し、試食も交えながら、今後の学校給食をより良くしていくための話し合いの場です。今後のより良い給食運営に向け、有意義な時間となりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

2 委員紹介

自己紹介

3 会食

*献立の説明

『モリモリランチ』は、こどもがお昼の放送で読んでいる。本日の果物の柿は地場産のものである。

4 協議

(1) 本校の給食運営、食育について

(栄養士) 中学年の給食予算は、1食あたり 298 円に補助金 20 円を加えた計 318 円である。調理は施設や設備の状況を考慮し、手作りを基本としている。おにぎり、春巻き、カレーのルー、ドレッシングなどもすべて手作りである。牛乳は、小平市では東毛酪農業の瓶入り牛乳を使用している。低学年の児童は、最初は瓶を倒してしまうなど扱いに苦労することがあるが、次第に慣れてくる。献立には地場野菜を優先して使用しており、柿、梨、ぶどうなどの地場産の果物も取り入れている。食育活動としては、『モリモリランチ』を通じて当日の給食に関する情報を発信している。また、児童の委員会活動では、給食ビンゴをはじめとする楽しい催しを行い、その一環として「残食を減らそう」というテーマでの取り組みも実施している。

(2) 市教委より

(学務課長) 小平市では、令和 6 年度から学校給食費の無償化を実施している。食材費の高騰が続いている状況であるが、市としては美味しく安全な給食の質を維持するための予算確保などを課題と捉え、対応を検討している。さらに、地場野菜の使用を推進している。地場野菜は形状に不揃いが見られる場合や調理に手間がかかる場合もあるが、受託事業者の協力を得ながら進めているところである。また、地場野菜を活かしつつ食育の推進にも取り組んでいる。市としては、食育を通じて児童に給食を通じた学びを深めてもらうことを願っているところである。

(3) 調理業務委託事業者より

(受託事業者) 当社は学校給食を専門とする事業者であり、自校調理方式およびセンター方式で全国展開している。毎日、140 万人以上の児童・生徒に学校給食を提供しており、小平市内では 8 校を受託している。創業以来 50 年以上にわたり、食中毒事故ゼロを記録していることを誇りとしており、今後も安全管理と衛生管理を徹底し、事故のない運営を続けてまいります。

(4) 保護者より

(保護者) 温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、それぞれ適温で試食することができ、とても美味しかった。

(保護者) こどもから美味しいと聞いていたが、実際に食べてみて本当に美味しかった。手間をかけて作っていただいていることがわかり、とても良いことだと感じた。これからもよろしくお願いします。

(保護者) 物価高騰の中で多くの食材が使われており、大変なご苦労をされていると察する。子どもは学年が進むにつれて、小学校の給食を通じて食べられるものが

増えていると感じている。ありがたいことである。

5 質疑応答

Q：牛乳の量が多いと思うが、いかがか。

A：1年生では飲めない子もいるが、半分でも良いという指導をしている。学年が進むにつれて、次第に飲めるようになっていく。

Q：『モリモリランチ』はホームページに掲載しているのか。公開してもらえると、家庭での話題にもなると思う。保護者も関心を持つのではないかなと思う。

A：現在は掲載していない。

Q：『モリモリランチ』は毎日発行しているのか。家庭でも給食に関する話題が多い。

A：毎日発行している。

以上